

## 令和3年度三重大学国際交流事業実施報告書作成要領

事業実施後は、次の実施報告書を国際交流チームに提出してください。

- 1) 様式2-1 実施報告書（学内版）
- 2) 様式2-2 事業の取組結果
- 3) 様式2-3 事業に係る経費執行結果
- 4) 様式 2-4-J 実施報告書（一般公開：日本語版）
- 5) 様式 2-4-E 実施報告書（一般公開：英語版）

## 令和3年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

### 1. 申請部局

学部・研究科名等： 教育学部

事業担当者の職・氏名： 特任教授・後藤太郎

内線電話番号： 9260

電子メール： goto@edu.mie-u.ac.jp

### 2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

オー克兰ド大学教育学部との連携による海外教育研修の実施

### 3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

#### 4. 事業の取組結果

**以下の事項について記述してください。ページ数は問いません。**

##### (1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

海外の教育制度や教育現場の視察は、教員を目指す学生に、自国の教育課題の相対化を通じて視野を拡大する機会となるとともに、主体的学習力の向上や、教育に対するモチベーションを飛躍的に高める機会となる。

教育学部では、常に教育改革を進めているニュージーランドに着目し、平成 23 年度よりオークランド大学教育学部で教育研修プログラムを開始し、毎年実施している。

本事業は、この研修を継続するものであり、新型コロナウイルス感染症の影響で渡航できないことからオンラインによるプログラムを研修実施先のオークランド大学と協議を進め、新たなプログラムを企画・実施するものである。

##### (2) 事業の背景・これまでの実績

ニュージーランドでは急速に教育改革が進み、自立的な学校経営が推進され、教員同士の協同的な職能開発が行われている。教員を目指す学生がこのような教育現場に触れることで、教員になるためのモチベーションを高めると考え、オークランド大学教育学部に海外教育研修プログラム実施に関して交渉し、平成 23 年度に第 1 回目を実施することができた。

交流の成果は、教育学部附属教育実践総合センター紀要、国際交流センター紀要およびオセアニア教育研究に報告した。また、平成 25 年 8 月には教育学部との間で学部間協定が締結され、平成 28 年 7 月および令和元年 6 月に更新した。

また、この海外研修は、教育学部の授業科目「海外教育実地研究」(2 単位) および大学院授業科目「海外教育特別実地研究」(2 単位) に位置づけられている。

令和 2 年度はコロナ禍の影響で渡航ができなかったため、これまで親交を深めている国際交流担当者である John Hope オークランド大学名誉教授の協力でオンラインプログラムを実施した。しかし、今年度は内容充実を図るために、オークランド大学教育学部で教員研修を担う Kohia Center と協議を重ねた結果、10 回の講座からなるプログラムが提案され、実施可能となった。

##### (3) 事業実施結果

オークランド大学教育学部の国際交流の再編などにより、これまで行ってきた教育研修プログラムをオンラインで行うことは難しかったが、オークランド大学教育学部の Kohia Center で検討してくれることになり、教師教育を中心とした 2 週間で 10 回のプログラムが提案された。期間は 2022 年 2 月 28 日 (月) ~3 月 11 日 (金) であり、授業は毎日 10 時半から 12 時 (日本時間) であった。プログラムは以下の通りである

プログラム参加者は 20 名 (学生 13 名、教員 7 名) であった。

週	月曜 10:30-12:00	火曜 10:30-12:00	水曜 10:30-12:00	木曜 10:30-12:00	金曜 10:30-12:00
第1週 2月28日-3月4日	開講式 NZの教育制度の紹介	NZの学校構造：-ECE、小中学校の状況 NZの幼児教育の背景	教室と最新の学習環境および関連する教育法 各タイプの教室のビデオ例と各タイプに関連する教育と学習	NZカリキュラム NZCの目的と意図についての理解を深める：ビジョンとキーコンピテンシー	NZC-学習領域と評価の実践に関する知識と理解
週	月曜 10:30-12:00	火曜 10:30-12:00	水曜 10:30-12:00	木曜 10:30-12:00	金曜 10:30-12:00
第2週 3月7日-3月11日	効果的な教育法に関する理論と実践：-意図的な教育行為-学習/形成的評価のための評価	効果的な教育法：授業観察、指導計画、指導案テンプレート、ビデオクリップ	NZの学校：小中学校教員のゲストプレゼンテーション	NZにおける多文化教育：言語と文化を可視化	NZと日本の教育制度を比較対照、考察とレビュー閉会式

毎回の授業で用いられる資料や授業の動画記録は授業担当者から授業日に通知が来るため、受講者専用コース（Moodle）に掲載し、復習できるようにした。また、受講生には毎回の授業の振り返りを記録するように指導し、学生の学習状況をみた。最終日には受講生一人一人がニュージーランドと日本の比較教育について発表を行った。

#### （４）事業の意義

オンラインによるプログラムではあるが、学生はニュージーランドの教育を学ぶことで、日本の教育と比較して違いについて考えるとともに、日本の教育について説明できるような学びをしなければならないことを実感する機会となった。

教師の仕事とは生徒が主体的に学んで自信を持つようにサポートすることであり、そのために教師は学び続けること、評価は教師がするだけでなく生徒が自己評価し、何ができて何が足りないかを知ることが大事であること、多文化教育では生徒の母国について理解することが必要であることなど、日本の教育課題について多くのことを学んだ。

このように、短期間ではあるが、学生にとって実りの多い研修となった。

#### （５）事業の発展性

オークランド大学教育学部における教育研修は、Kohia Center の協力により、今後もプログラムを継続することが可能となった。来年度も渡航が困難なことが予想されるためにオンラインの実施となり、すでに担当者と打ち合わせを進めている 2023 年度以降、渡航が可能となる場合は、現地での研修を実施する予定である。

#### （６）中期目標・中期計画における位置づけ

I-4-(1)-1-1：世界で活躍できるグローバル人材を育成するために、在学中に海外留学や国際会議などで海外へ派遣するための海外渡航支援制度や、ダブルディグリープログラムをはじめとしたアジアを中心とする海外からの留学生受入れプログラムを見直し、海外渡航学生数については入学定員の 20%とし、受入留学生数については第 2 期の平均に比べ 10%増加させる。

に伴う活動。

I-4-(1)-2-1：地域社会からの要望の強い国・地域にある海外の大学との戦略的なパートナーシップを構築するため、国際戦略本部会議を中心に、国際的な教育・研究活動、国際交流事業、附属病院での国際的医療活動などに対して明確な意思を持った方針・戦略を策定する。

(7) その他

なし

## 令和3年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

海外の教育制度や教育現場の視察は、教員を目指す学生に、自国の教育課題の相対化を通じて視野を拡大する機会となるとともに、主体的学習力の向上や、教育に対するモチベーションを飛躍的に高める機会となる。

教育学部では、常に教育改革を進めているニュージーランドに着目し、平成 23 年度よりオークランド大学教育学部で教育研修プログラムを開始し、毎年実施している。

本事業は、この研修を継続するものであり、新型コロナウイルス感染症の影響で渡航できないことから、オンラインによるプログラムをオークランド大学教育学部の教師教育センターである Kohia Center と協議を進め、新たなプログラムを企画し、実施した。

教師教育を中心とした 2 週間で 10 回のプログラムが提案された。期間は 2022 年 2 月 28 日（月）～3 月 11 日（金）であり、授業は毎日 10 時半から 12 時（日本時間）であった。プログラム参加者は 20 名（学生 13 名、教員 7 名）であった。

オンラインによるプログラムではあるが、学生は、ニュージーランドの教育を学ぶことで、日本の教育と比較して違いについて考えるとともに、日本の教育について説明できるような学びをしなければならないことを実感する機会となった。

教師の仕事とは生徒が主体的に学び、生徒が自信を持つようにサポートすることであり、そのために教師は学び続けること、評価は教師がするだけでなく生徒が自己評価し、何ができて何が足りないかを知ることが大事であること、多文化教育では生徒の母国について理解することが必要であることなど、日本の教育課題について多くのことを学んだ。

Kohia Center の協力により今後も研修プログラムを継続することが可能となった。来年度も渡航が困難なことが予想されるためにオンラインの実施を予定し、担当者と打ち合わせを進めている。